



# 2016年9月期 第2四半期決算説明資料

 System Answer® G2

アイビーシー株式会社

証券コード:3920

2016年5月10日

1. 会社概要 -----P. 2
2. 2016年9月期 第2四半期決算概況-----P.18
3. 2016年9月期 業績進捗状況-----P.23
4. 成長戦略に対する取り組み -----P.25

# 1. 会社概要



社名	アイビーシー株式会社 Internetworking & Broadband Consulting Co.,Ltd.
事業所	東京都中央区新川一丁目8番8号 アクロス新川ビル2F 大阪府大阪市淀川区西中島六丁目6番17号 RIC1stビル4F
設立	2002年10月16日
決算月	9月
資本金	40,283万円 (2016年3月31日現在)
代表	代表取締役社長 加藤 裕之
事業内容	ネットワークシステム性能監視ツールの開発／販売／サポート ネットワークシステムの性能評価サービス ネットワークシステムの設計／構築／コンサルティング 各種機器販売／ソフト販売
従業員数	営業18名／技術・開発18名／他13名 合計49名 (2016年3月31日現在)

## 1. 性能監視のパイオニア

- ✓ 性能監視とは、問題を未然に防ぎ、ITインフラの性能維持・改善・コスト削減を目的にした監視

## 2. 分析・解析コンサルティング

- ✓ さまざまな機器を詳細に分析し、潜在的な問題を洗い出し、改善策を提示



## 1. 分析サービス

- ✓ 顧客のネットワークシステムに内在する問題点や課題の抽出、最適な改善策の提案

## 2. プロダクト販売・導入

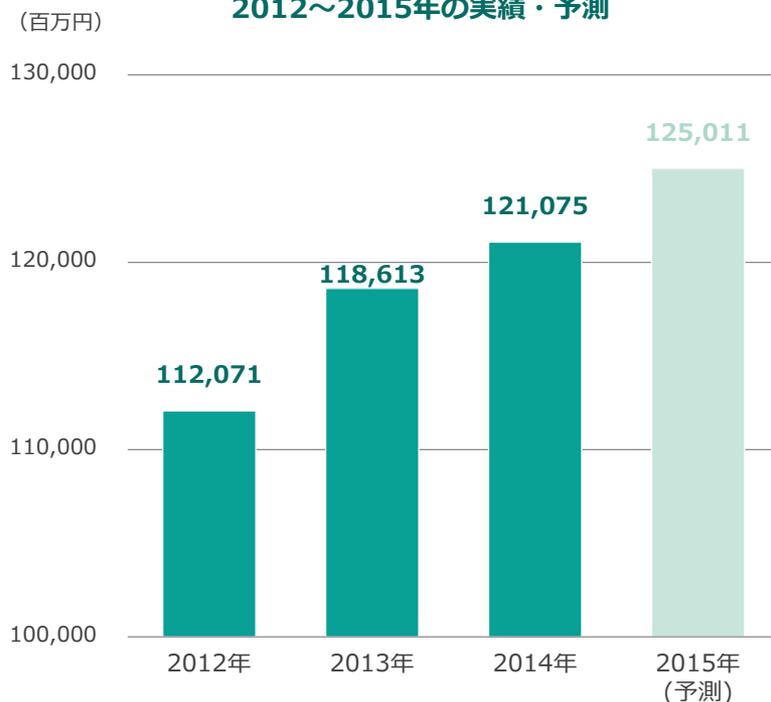
- ✓ 複雑なシステムの性能状況を、精度の高いデータを取得し分析する事が可能な自社開発性能監視ツールの販売や導入支援

## 3. コンサルティング

- ✓ 顧客のビジネスパートナーとして、さまざまな運用支援サービスを提供

## 国内システム性能/稼働監視ソフトウェア市場

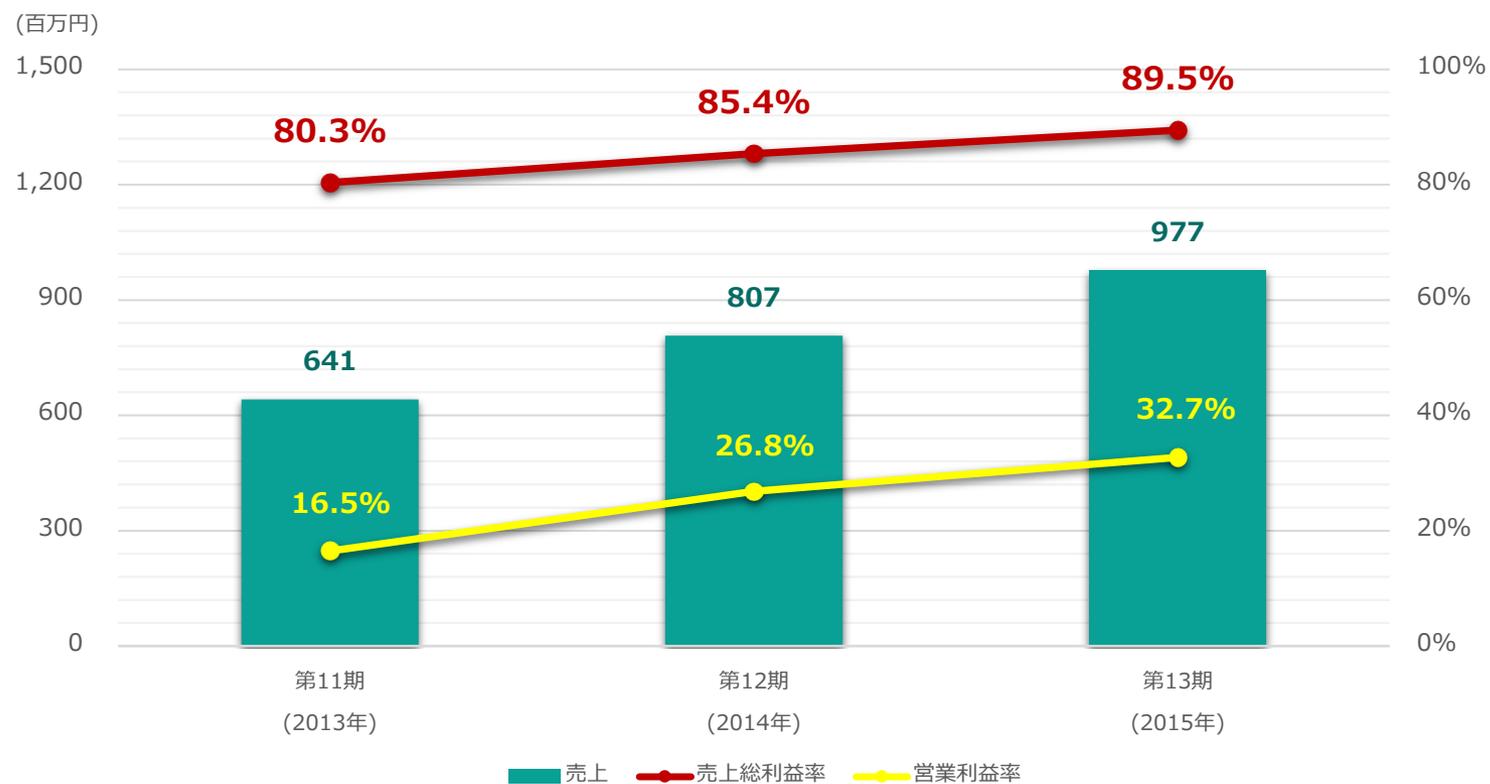
2012～2015年の実績・予測



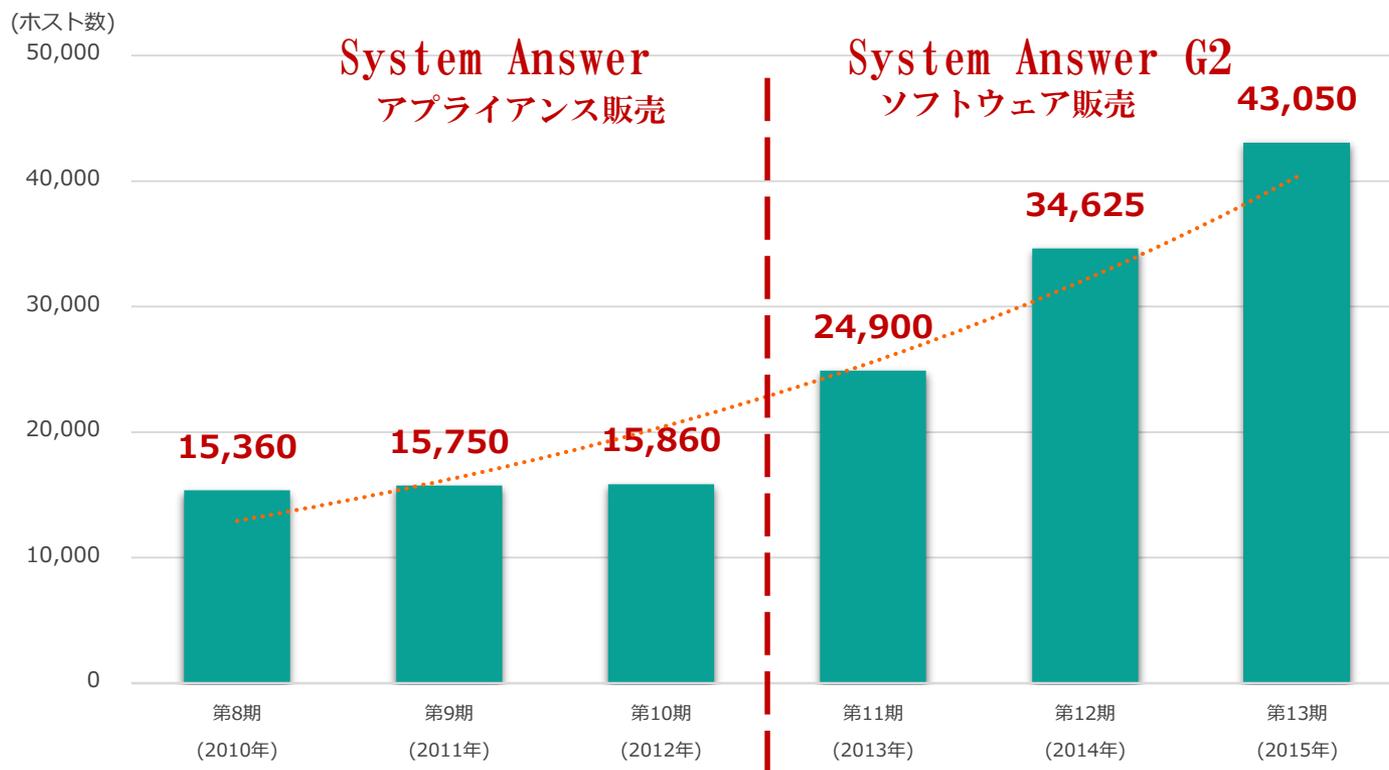
- 2015年時点で1,250億円の市場規模(予測)
- 通信事業者やデータセンターにおけるシステム更改の増加
- 官公庁や地方自治体向け案件の増加
- 仮想環境に対応した稼働監視システムへ見直しをする企業の増加

出典：IDC Japan, 「国内システム/ネットワーク管理ソフトウェア市場 2014年の分析と2015年～2019年の予測 (IDC#J15380105)」から引用

## 高利益率で安定的に成長できるフェーズへ



# ソフトウェア販売開始により販売数・案件規模の拡大



※ アプライアンスとは、ハードウェア + ソフトウェアでの組込み販売

1. 自社製品開発
2. 分析・解析ノウハウ
3. ストック型ライセンスモデル

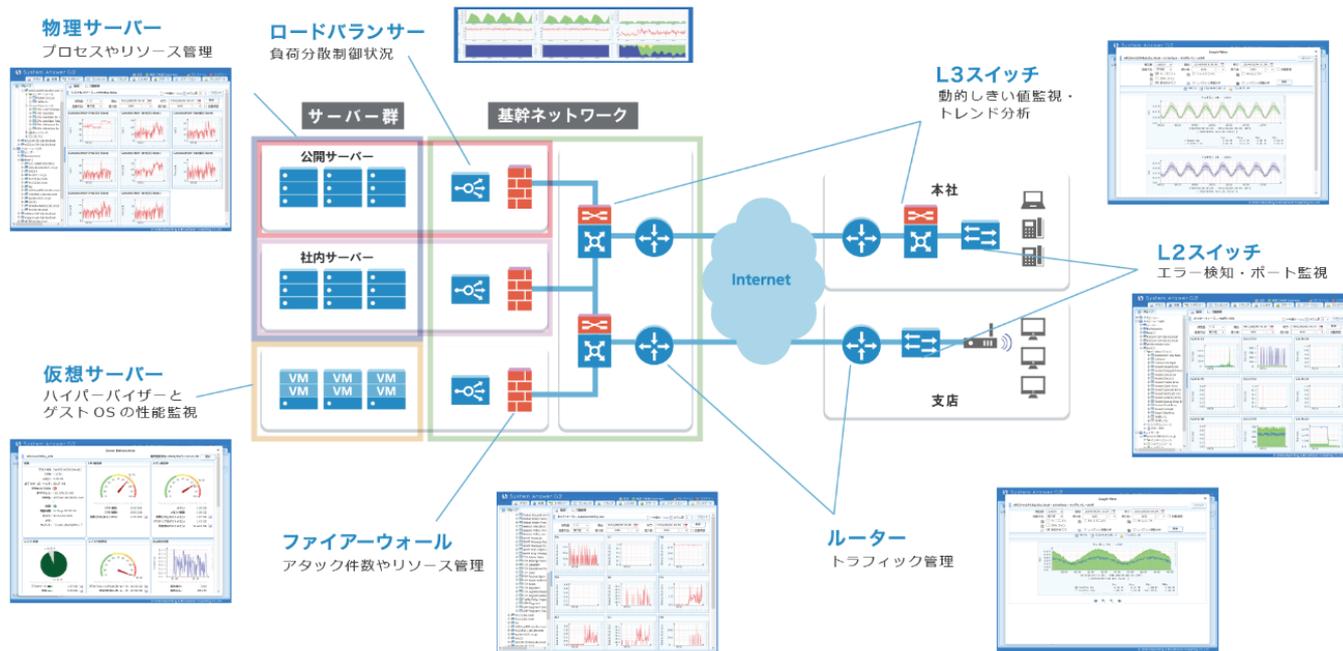
## System Answer とは

### ④ 製品コンセプト

- ✓ 誰でもが簡単に
- ✓ マルチベンダー機器
- ✓ 稼働性能情報の把握
- ✓ 予兆検知・予防対策
- ✓ レポート・キャパシティ計画

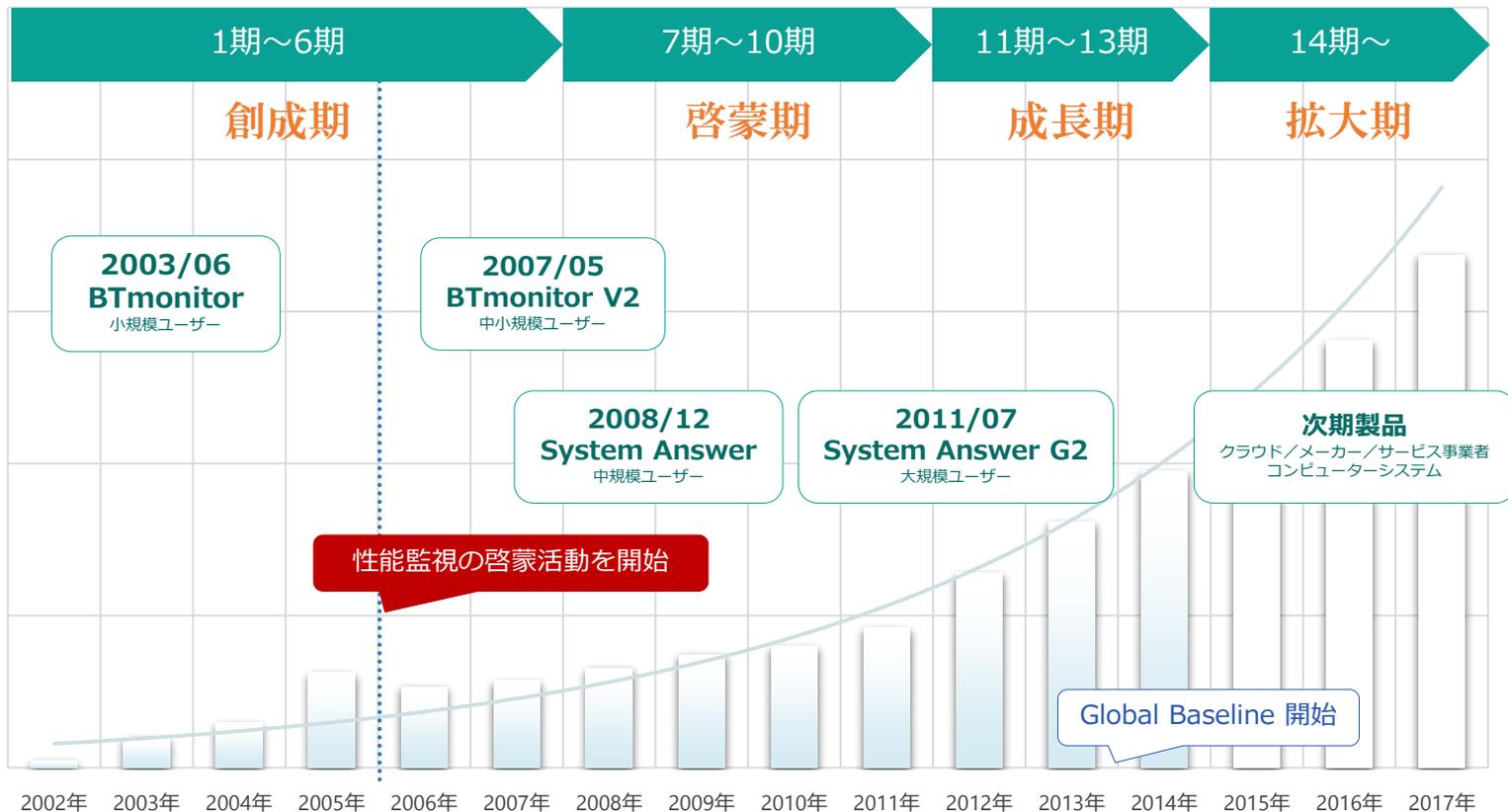
# System Answer G2による効果

- ✓ ネットワーク機器から物理／仮想サーバーまで、システムを構成する幅広いメーカー機器の性能情報の可視化と予兆検知

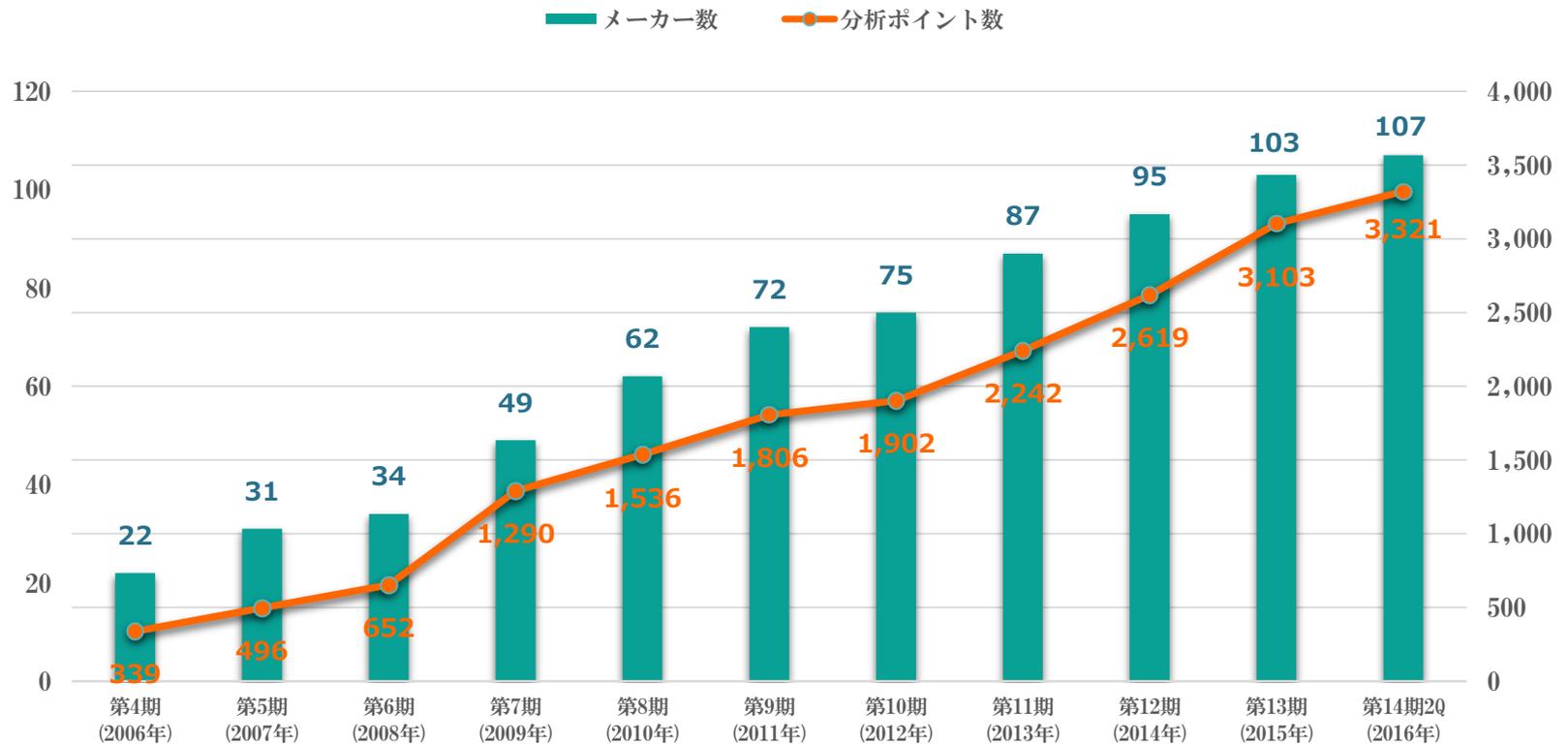


ITインフラの性能維持・改善・コスト削減に貢献

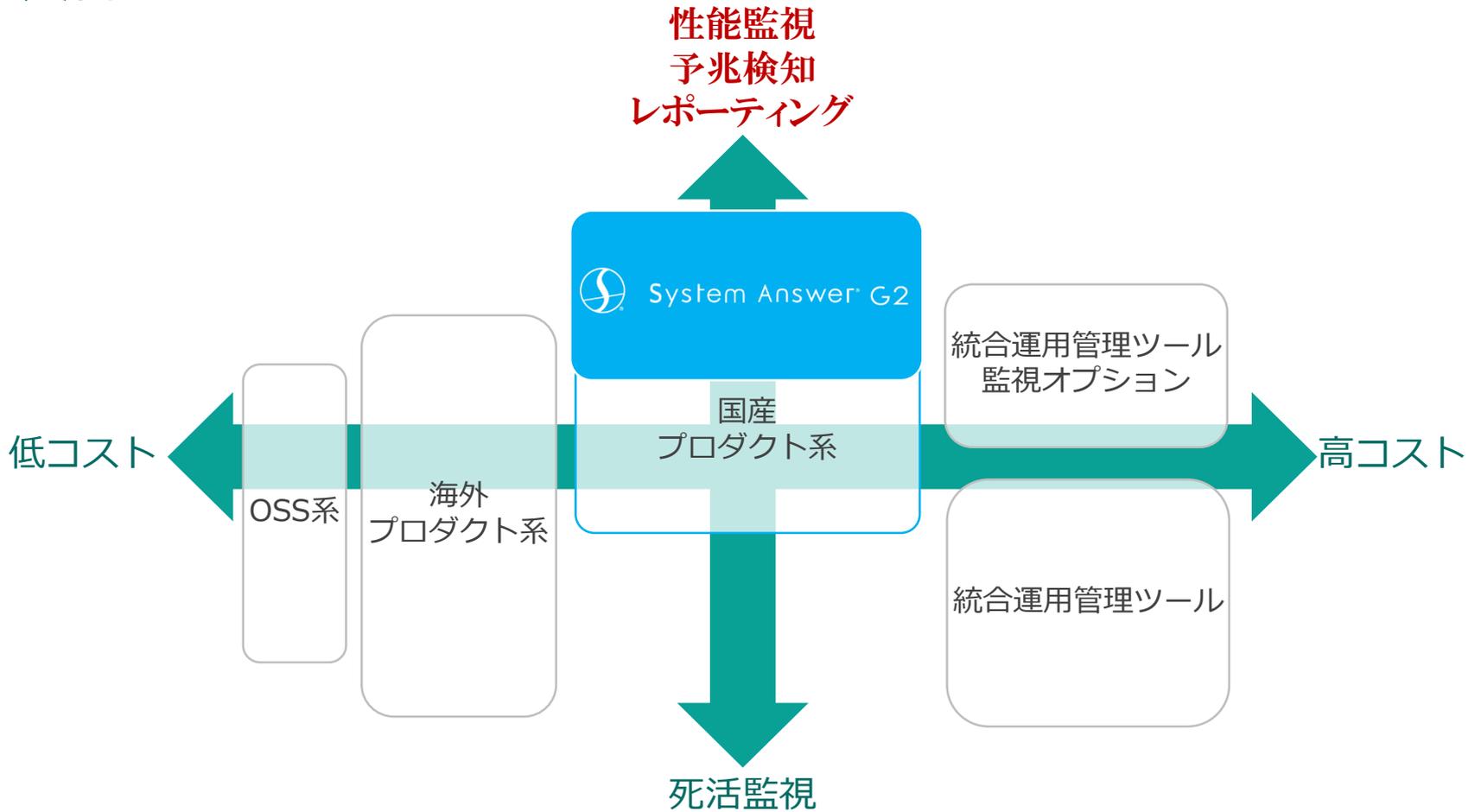
# 性能監視のリーディングカンパニー



# 対応メーカー数と分析ポイント数の推移

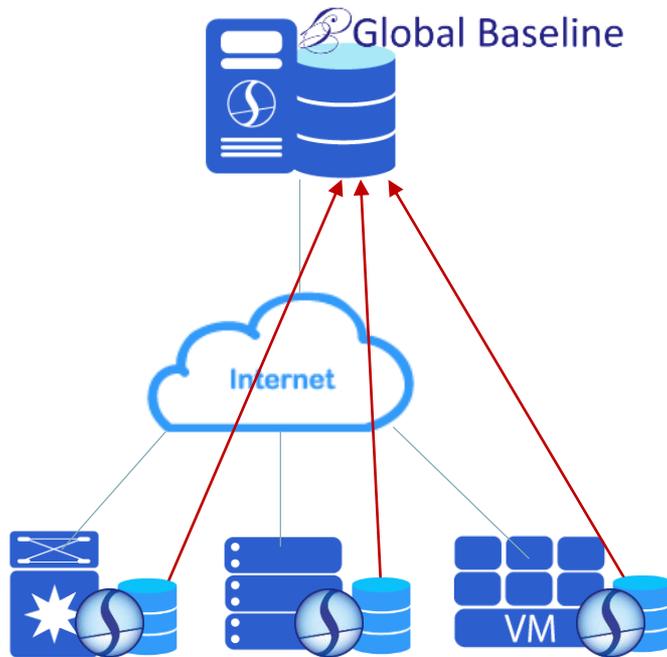


# 製品のポジショニング



## 性能情報を統計解析し、性能指標データを作成

さまざまな環境での稼働状況データが蓄積・分析・解析され、当社のノウハウとなっています。



### 統計情報コンテンツ

- ✓ 機種別性能特性
- ✓ 負荷と利用状況の相互関係
- ✓ 導入ベンダーシェア
- ✓ 導入機種シェア
- ✓ 業種別導入機器傾向
- ✓ 業種別負荷周期性

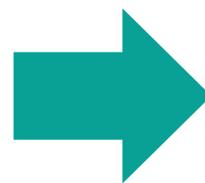
※ System Answer G2をご利用いただいている顧客に一部のデータをグローバルベースラインとして無償提供しています。

※ System Answer G2を利用いただいている顧客にて承諾頂いた場合のみデータ送信を行います。

# データ(数値)をインフォメーション(情報)に置き換えて 判断基準を提供



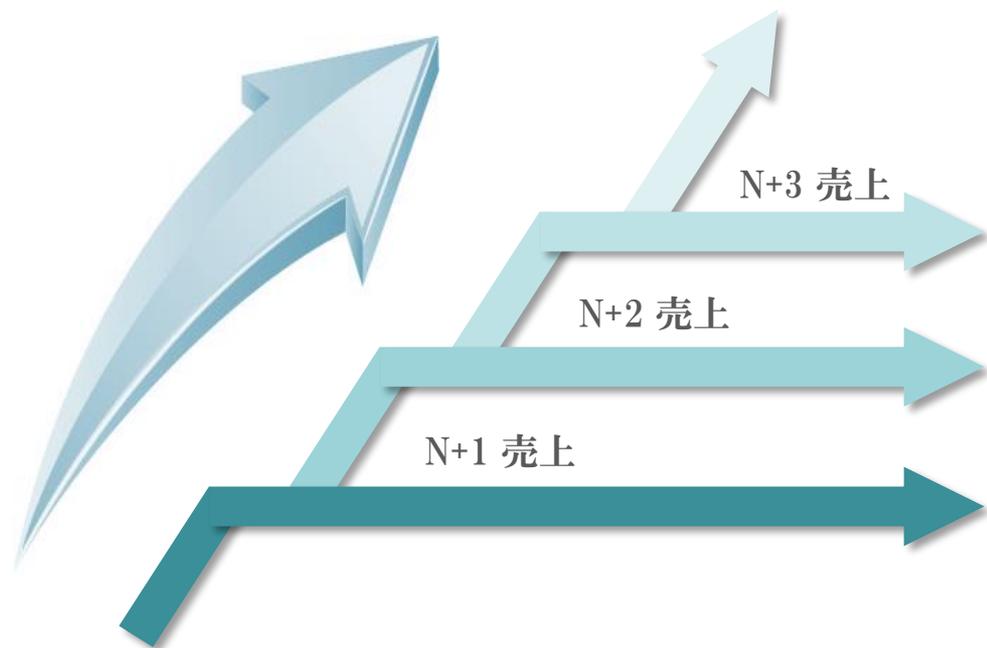
情報アウトプット  
(可視化)



情報インプット  
(判断)

## 継続利用率が極めて高い

- ✓年間ライセンスの販売
- ✓複数年ライセンスの販売
- ✓長期契約の締結



## 2. 2016年9月期 第2四半期決算概況

※ IBC

## 業績ハイライト

- ✓ 売上高 486百万円 (前年同期比 6.0%増)
- ✓ 経常利益 118百万円 (前年同期比 28.8%減)
- ✓ 四半期純利益 69百万円 (前年同期比 31.6%減)

## ポイント

- ✓ 第1四半期に続き、第2四半期も計画通りに進捗。
- ✓ 現時点において通期の業績予想は、当初計画通りを想定。

- ✓ 売上高は、前年同期を上回り、計画通りに進捗。
- ✓ 売上総利益率は、前年同期と同水準を維持。
- ✓ 販管費は、人件費の増加等により前年同期比約3割増加するも、当初計画値をやや下回る水準で進捗。

(単位:百万円)

区 分	16/9期2Q累計	15/9期2Q累計	前年同期比(%)
売上高	486	459	106.0
売上原価	56	51	109.5
売上総利益 (利益率)	429 (88.3%)	407 (88.7%)	105.5
販売費及び一般管理費	311	240	129.6
営業利益 (利益率)	118 (24.4%)	167 (36.4%)	71.0
経常利益	118	165	71.2
四半期純利益	69	101	68.4

- ✓ 主力のライセンスの販売を中心に、全般的に前年同期をやや上回り、当初計画通りの水準で進捗。

(単位:百万円)

区 分	16/9期2Q累計	15/9期2Q累計	前年同期比(%)
ライセンスの販売	383	366	104.5
サービスの提供	63	65	97.6
その他物販	39	26	147.0
合 計	486	459	106.0

- ✓ 人件費は、採用活動の強化による従業員数の増加等の影響により、前年同期比3割弱の増加。
- ✓ 広告宣伝費は、上場に伴う開示・IR・SR関連費用の発生等により、前年同期比約3倍に増加。

(単位:百万円)

区 分	16/9期2Q累計	15/9期2Q累計	前年同期比(%)
人件費	186	147	125.8
広告宣伝費	18	6	282.7
その他	106	85	124.4
合 計	311	240	129.6

(単位:人)

区 分	16/9期2Q末	15/9期2Q末	前年同期比
【参考】従業員数	49	38	+11

### 3. 2016年9月期 業績進捗状況



- ✓ 2Q累計実績は、売上高及び各段階利益において2Q累計進捗率100%を達成し、計画通り進捗。
- ✓ 現時点において通期業績は、当初計画通りを想定。

(単位:百万円)

区 分	16/9期2Q 累計実績	16/9期2Q 累計予想	2Q累計 進捗率(%)	16/9期通期 予想	通期 進捗率(%)
売上高	486	485	100.4	1,135	42.9
営業利益 (利益率)	118 (24.4%)	106 (22.0%)	111.1	359 (31.7%)	33.0
経常利益 (利益率)	118 (24.3%)	106 (21.9%)	111.1	334 (29.5%)	35.3
四半期(当期)純利益 (利益率)	69 (14.3%)	63 (13.1%)	109.0	200 (17.7%)	34.6

## 4. 成長戦略に対する取り組み



1. 製品機能強化
2. 成長分野進出
3. 販売施策
4. 次期製品

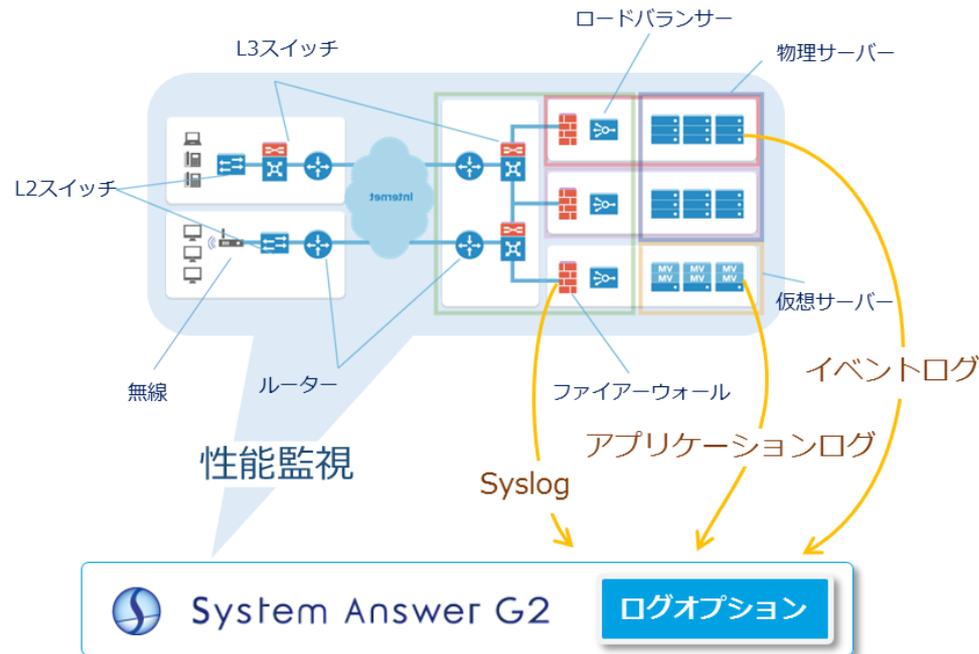
# 2015年10月以降の主要リリース

日付	内容	
2015.10.08	TIS社が提供するマネージドサービスの性能分析サービスにIBCの性能監視ソフトウェア「System Answer G2」を採用	P33
2016.01.15	ネットワーク監視製品の間合せ数で年間1位を獲得	
2016.01.20	IDCフロンティア社の提供する「エコアライアンス構想」に賛同	
2016.03.01	Skeed社との合弁会社設立に関するお知らせ	
2016.03.07	性能監視ソフトウェアにログオプションを追加	P28
2016.03.25	Skeed社との提携による合弁会社設立に関するお知らせ(経過報告)	P31
2016.04.05	ネットワーク品質の可視化による効果的なITシステム投資計画を支援	P29
2016.04.12	アットマークテクノ社とIoTを活用した製造ラインの統合管理ソリューションで協業	P30

※ 2016年4月末までの主要リリースを記載

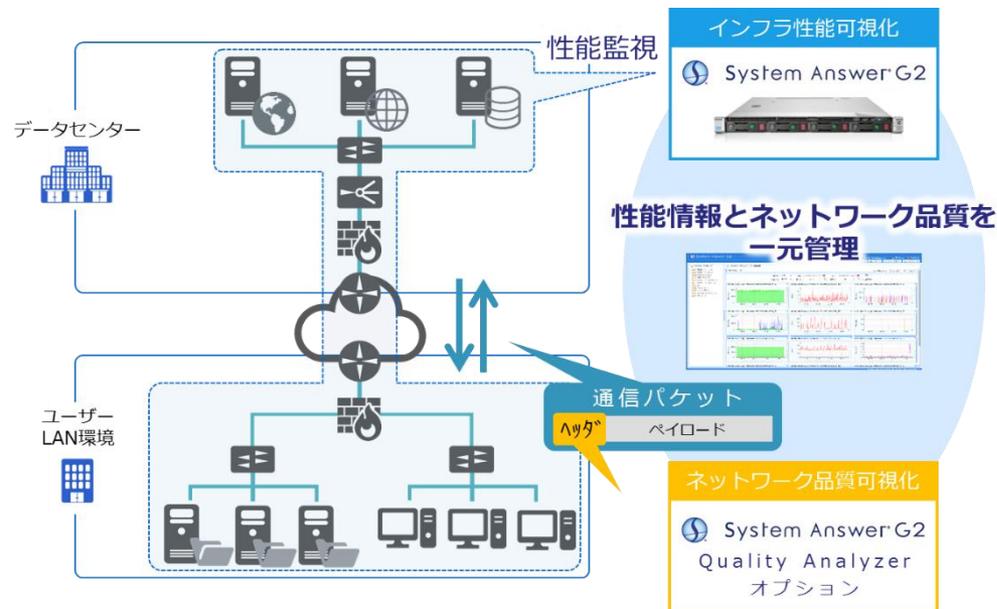
## System Answer G2にログオプションを追加

- ✓ 統合ログ管理市場で豊富な実績を誇るインフォサイエンス社の「Logstorage」と連携し、3月9日より「System Answer G2 ログオプション」の提供を開始。
- ✓ 性能情報とログ情報の統合管理を行い、障害予兆検知、障害時の迅速な調査、障害通知分析、事後のレポート作成等、新たな付加価値を提供する。



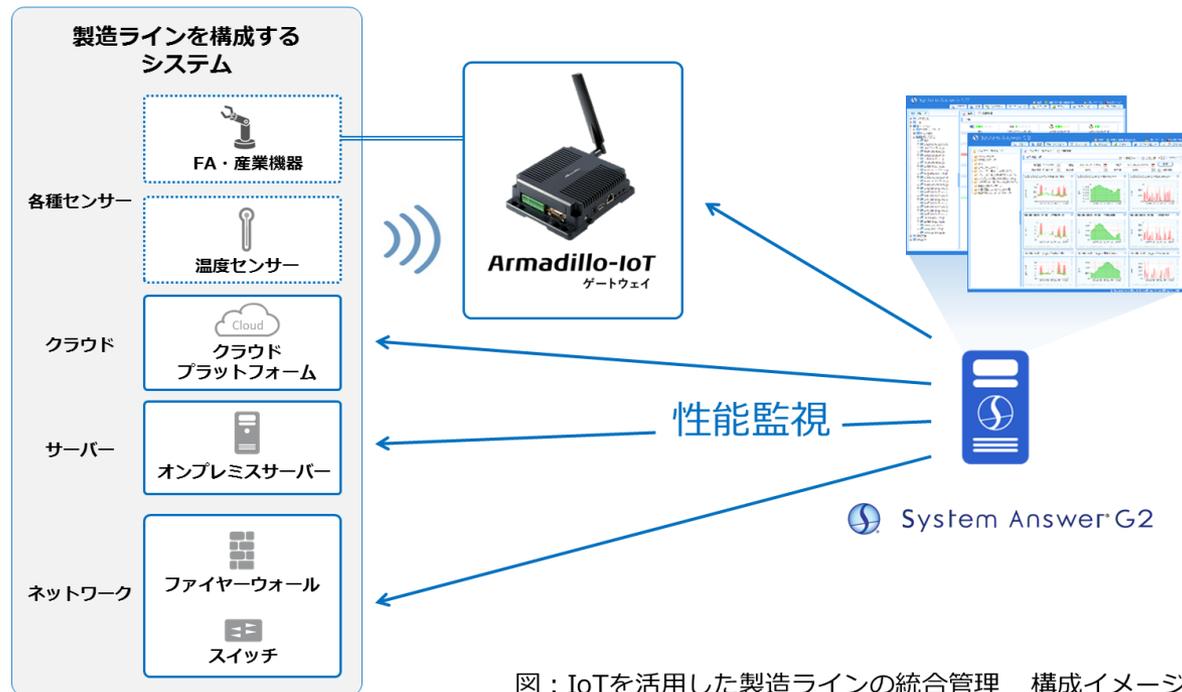
## System Answer G2にQuality Analyzerオプションを追加

- ✓ 主力製品「System Answer G2」の追加機能として、4月5日より「System Answer G2 Quality Analyzer オプション」の提供を開始。
- ✓ 通信種類ごとの品質を継続的に可視化することで、品質低下の予兆検知が可能。また、影響のあるユーザーやアプリケーションの特定に大きな効果があり、問題発生時の原因分析を大幅に短縮できる。



# IoTを活用した製造ライン統合管理ソリューションで協業

- ✓ 第一弾として、アットマークテクノ社のIoTゲートウェイ「Armadillo-IoT」との連携により統合的な状態・性能監視を提供する予定。



図：IoTを活用した製造ラインの統合管理 構成イメージ

## 株式会社Skeedとの提携による合弁会社設立

- ✓ 3月25日付でSkeed社と新会社の設立・運営に関する合弁契約を締結。新会社iBeedにて、IoTやブロックチェーン関連の開発を進める。

名 称	iBeed株式会社
所 在 地	東京都目黒区目黒一丁目6番17号
代表者の役職・氏名	代表取締役 加藤 裕之
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① IoT分野におけるソフトウェア・サービスの開発・販売・サポート、及びコンサルティング事業</li> <li>② P2P自律分散ネットワーク技術を応用したブロックチェーン(分散台帳技術)に関するソフトウェア・サービスの開発・販売・サポート、及びコンサルティング事業</li> </ul>
資 本 金	25,475千円
設 立 年 月 日	2016年4月1日

## 1. パートナー連携強化

- ✓ 公共系システムや大手企業への販売促進の継続。

## 2. サービス型販売の促進

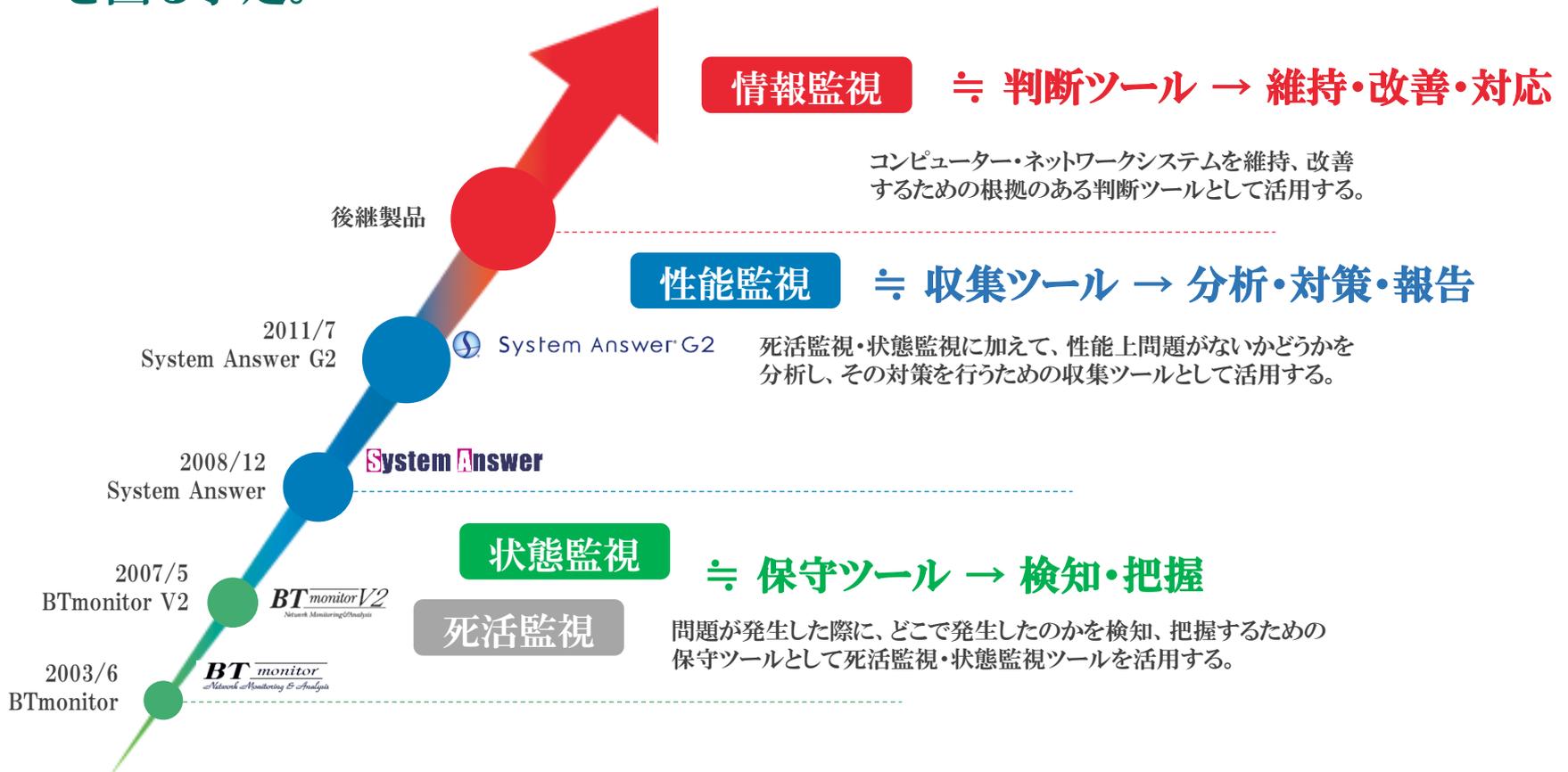
※ 次ページ参照

## マネージドサービスにSystem Answer G2を採用

- ✓ TIS社が提供するITインフラの管理、運用支援のマネージドサービス「MOTHER」の性能分析サービスに「System Answer G2」が採用された。
- ✓ システム性能情報のリアルタイムモニタリングやデータ蓄積から運用改善までをトータルにサポートし、稼働品質の向上に効果を発揮する。



- ✓ 「情報監視」に対応した次期製品のプロトタイプを作成中であり、順調に進捗。
- ✓ 実際の運用環境での十分な試験を行ったうえで、製品リリースのタイミングを図る予定。



- ✓ 本資料は、アイビーシー株式会社(以下「当社」といいます。)の財務情報、経営情報等の提供を目的としており、内容についていかなる保証を行うものではありません。
- ✓ 本資料に記載されている当社以外の企業等に関わる情報及び当社以外の第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、かかる情報の正確性、完全性及び適切性等について何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。
- ✓ 本資料に記載しております見通し、予想数値等の将来に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。今後の業績等は事業運営、経済情勢その他の様々な要因によって、予想と異なる可能性がありますので、予めご承知おきください。
- ✓ 2015年9月期第2四半期の数値は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく四半期レビューを受けておりません。